

## 2006 年度

科目名  総合演習Ⅱ	対象学科・学年 教福2回生	担当者  高村 博正		
授業テーマ： 国際理解とコミュニケーション。楽しく英語を「使ってみる」——コミュニケーション道具としての英語をエンジョイしよう。 授業の半分は英語で行います。				
授業の概要と目標：みなさんは今年で7年間の英語教育を経験してきた。もう新しい単語は覚えなくてよい——十分に単語は知っているから。もう文法で悩まなくともよい——十分に知識はあるから。もう和訳なんか不要だ——通じればいいのだから。今まで経験したことがない（と思われる）英語の実践法を紹介するが、ほとんどが楽しいものである。同時に効果がある。このクラスでは、ほんとうに英語を聴き、英語を話し、英語を書き、英語で考える。学生の自主的な参加によってのみ可能なクラス運営方法と英語実践を目指す。教師も学生も英語をメインに使って楽しむクラスである。				
評価方法：前期・後期の定期試験の他に、毎回の受講とスコアカードの記入成果が評価の対象になる。毎回の評価点（100点満点）の積算を講義回数で割り、その6割以上獲得が基本。優良可の評価は従来通り。欠席は-20点を加算。遅刻は当日の全得点を半減する。スコアカードによる毎回の評価点は、授業のための準備評価が5割を占め、授業での発表内容評価が5割となる。同時に委に、教師が学生を評価するだけでなく、逆に学生が教師を毎回評価するシステムも採用する。				
テキスト： 特に指定しないが、適宜、必要な資料を知らせる	著者：	出版社：		
参考書： 『これだ!!留学必携』 『TALK システムと英語の授業例—教育福祉学科生の場合』、	著者： ハヤシ／高村 高村博正	出版社： ふくろう社 『教育福祉研究』28		
授業スケジュール・内容：  【前期】	【後期】			
<p>9. TALK式英語会話実践(1)</p> <p>10. TALK式英語会話実践(2)</p> <p>11. TALK式英語会話実践(3)</p> <p>12. 学生によるプレゼン『私とイングリッシュ』</p> <p>13. プrezenの合評の時間</p> <p>14. 最終講義と討論：英語は嫌い？好き？</p> <p>15. 後期テスト</p>				
<p>★在学生・卒業生・近隣の市民を対象に、毎週木曜日の2限と昼休みに「英語・通訳勉強会」を開いている。自由参加であるのでこのクラスの評価に連関しない課外活動であるが、総合演習Ⅱの成果の確認には最適の機会である。できるかぎりこういう機会を利用して、コミュニケーションとしての英語力を身につける態度が重要である。詳しくは担当者の個人的ホームページを参照のこと：<a href="http://www.ne.jp/asahi/takamura/hiromasa/">http://www.ne.jp/asahi/takamura/hiromasa/</a></p> <p>★英語や発音訓練や通訳訓練に関する各種質問やコメントはメールで送信すること (takamuh@osaka-ohtani-u.ac.jp)。</p> <p>★毎回提出するスコアカードは、採点後、その次のクラスで各自に返却する。</p>				